

記者発表資料

雄物川・子吉川水系水質汚濁対策連絡協議会

事務局 秋田河川国道事務所、湯沢河川国道事務所

《油流出事故多発のシーズン到来》

～灯油などの取り扱いにご注意下さい！～

これからの時期、家庭や事業所で暖房用燃料として灯油や重油等の取扱いがますます増えてきますが、それに伴い油流出に起因した水質事故も増える傾向にあります。

雄物川・子吉川水系では、昨年47件の水質事故があり、そのうち冬場（1～3月、12月）に35件（約74%）発生しています。事故原因のほとんどが**不注意による灯油の流出**で、『ホームタンクからの小分け中にその場を離れた・コックを閉め忘れた』等の操作ミスや『配管の亀裂、落雪による機器の故障』が多い状況です。

水質事故が発生すると、上水道の取水停止など住民生活に大きな影響を及ぼし、又、事故処理に要するオイルフェンスやマット等の費用は原因者負担となり、その規模によっては莫大な費用が請求されます。

水質事故を未然に防ぐため、油類の取扱に注意し落雪対策等を心がけて下さい。

1. 事故処理費用は原因者負担です。

- ・河川等への流出を防ぐために設置したオイルフェンスや吸着マット、人件費等の事故処理に要した費用が請求されます。（数万～数十万円）

2. 油流出事故を防ぐための心がけ。

- ・給油中はその場を離れない、目を離さない。
- ・配管や機器は、こまめに点検する。
- ・落雪対策をきちんと行う。

3. 川で油膜を発見した時や、万が一、油事故を起こしてしまったら。

- ・すぐに市町村窓口や消防、警察、県や国の機関に連絡願います。迅速な対応が被害の拡大を防ぎます。

< 発表記者会：秋田県政記者会 >

問い合わせ先

雄物川・子吉川水系水質汚濁対策連絡協議会 事務局

国土交通省 東北地方整備局

（雄物川 下流支局、子吉川）秋田河川国道事務所 TEL 018-864-2290

副所長（河川担当） なかがわ ひろき 中川 博樹（内線204）

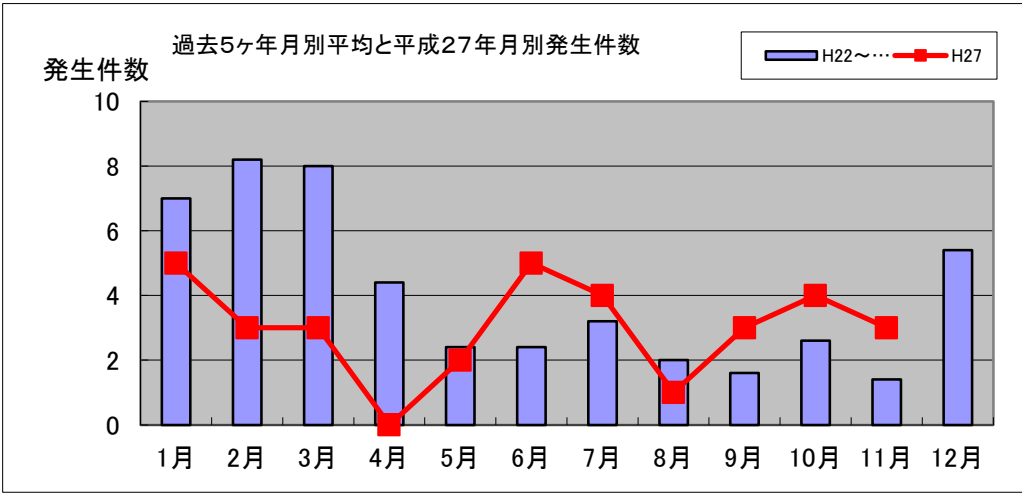
河川管理課長 ななお しげあき 七尾 重亮（内線331）

（雄物川 上流支局）湯沢河川国道事務所 TEL 0183-73-5340

副所長（河川担当） さとう のりお 佐藤 徳男（内線204）

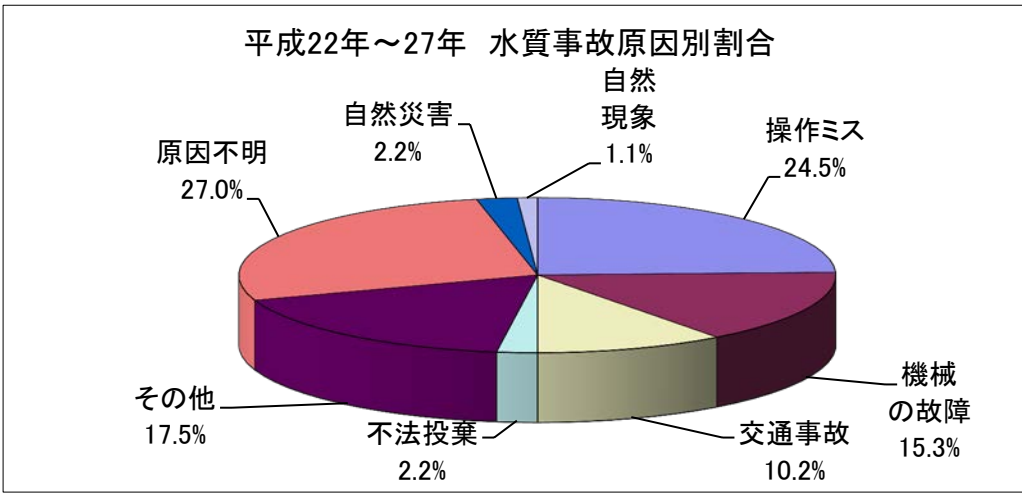
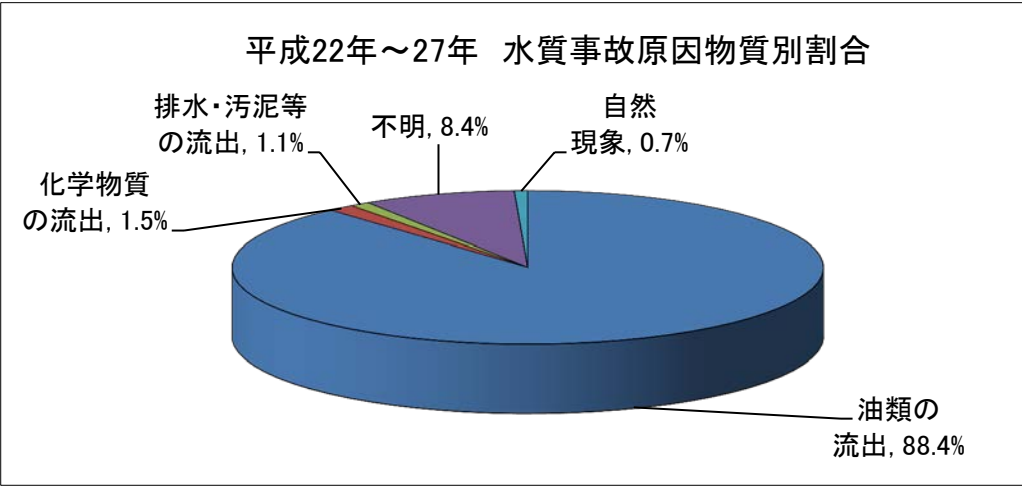
河川管理課長 はせがわ まさと 長谷川 優人（内線331）

雄物川・子吉川水系水質事故発生件数等



	全体件数	冬場件数	冬場比率
H27(11月末時点)	33	11	33%
H22~26平均	49	28	60%

※冬場:1~3月、12月



※平成22年1月~平成27年11月のデータ
 ※水質事故発生原因割合・水質事故発生割合は平成22年~27年までの平均による割合



油の流出事故が多発しています!

一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから、灯油などの油類が漏れ出し、河川などに流れ出す事故が増えています。その多くが人的ミスによるものです。

油流出注意!!

油流出事故の原因者が費用負担者
事故を起こすと油の撤去に費用がかかります。油の回収に要した費用は事故を起こした原因者が負担することになります。



油流出事故を防ぐための心掛け

- **その場を離れない・目を離さない**
ホームタンクなどから灯油を小分けするときは絶対にその場を離れないようにしましょう。
- **屋根からの落雪や除雪時には注意を**
屋根からの落雪や除雪時に給油管破損やホース脱落に注意しましょう。
- **配管の場所には目印を**
配管の破損を防ぐために雪囲いをしたり、配管の場所が雪でわからなくならないように目印を立てておきましょう。
- **定期点検を怠らない**
配管やホームタンクの定期点検に努めましょう。

事故を起こした場合または発見した場合は
お近くの国や県の機関、市町村役場、消防署、警察署等へ
ご連絡ください

雄物川水系水質汚濁対策連絡協議会 / 子吉川水系水質汚濁対策連絡協議会

〔構成機関〕 国土交通省・経済産業省・秋田県・雄物川流域市町村（秋田市・仙北市・大仙市・横手市・湯沢市・美郷町・羽後町・東成瀬村）・子吉川流域市町村（由利本荘市・にかほ市）

■お問い合わせ先 雄物川(上流支局) 国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所 TEL 0183-73-5340(河川管理課)
雄物川(下流支局)及び子吉川 国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所 TEL 018-864-2290(河川管理課)